



しげもり かよこ
重森 佳代子
(清新の会)

質問した項目

- 令和7年度予算について
- 第五次東広島市総合計画後期基本計画について
- 効率的で有効な公共施設マネジメントについて
- 地方創生2.0の施策について

清新の会の
代表質問
全編映像は
こちらから



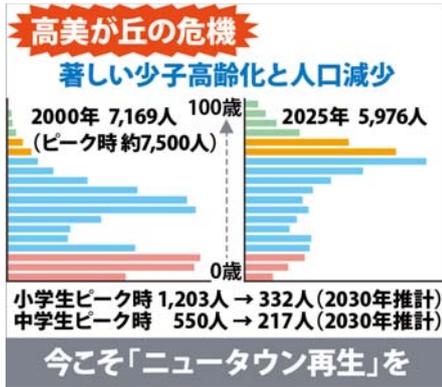
次世代学園都市構想
収支報告で見える化を

質問

本事業の透明性を高め、市民の理解と賛同を得るためには、事業の見える化が必要である。本市は令和6年度までに、[※]出捐金として広島大学に約6億円拠出しているが、[※]随意契約による発注が多く、競争原理が十分機能しているとは言えない。さらに詳細な収支報告がなく、事業の進捗状況も分かりにくい状況である。事業の透明性をどのように確保するのか。

答 弁／栗栖経営戦略担当理事

広島大学を中心とした[※]スマートシティの構築に向けては、企業からの寄付金を財源として、広島大学に出捐することで事業実施し



学校施設で「地域共創」
高美が丘構想を提案

質問

高美が丘地域の人口は、ピーク時の7千五百人から大幅に減少し、6千人を下回った。小中学校の児童生徒数もピーク時の半数以下となっている。

そこで学校施設を効果的に活用

する、(仮称)高美が丘スマートタウン構想を提案する。

高美が丘小中学校を段階的に地域拠点化し、「地域共創」を軸とした持続可能なまちづくりを進め、本格的なコミュニティ・スクールに取り組み、「みんなが学び、教え合えるまち」の実現をめざす。また、クラブ活動の地域移行、不登校サポート、子育てサポート、みんなで利用できる図書館、高齢者の健康づくり・交流のための多目的スペースなど、多様な機能を段階的に集約し、世代を超えた交流拠点として整備する。以上が、清新の会が提案するまちづくり構想である。

学校施設の活用と「地域共創」のまちづくりの方向性を問う。



答 弁／川口副市長

学校施設を単なる学びの場に留まらず、地域住民が集う場としての機能を持たせることは、重要な取組みと考える。地域住民との協力体制を強化し、どのような学びを実現したいか、どのような空間を創り、どう活かすのかというビジョンを共有し、関係者が一丸となって取り組む必要があると考える。

公共施設の有効活用・
維持、専属組織が必要

質問

深刻化するインフラの老朽化を踏まえれば、公共施設の統括的マネジメントを推進するために、専属組織を設置すべきではないか。

答 弁／川口副市長

公共施設の適切なマネジメントは極めて重要なテーマであると認識しており、より実効性を高める推進体制の構築を検討している。

会派所属議員

北林 大下	光昭 博隆	上岡 田坂	裕明 武文
大下 貞岩	敬 耕司	重森 佳代子	

※令和7年3月現在

※スマートシティ 最先端技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化することで、生活の利便性や快適性が向上し、人々が安心・安全に暮らせるまち。
出捐 当事者の一方がその意思に基づいて財産上の損失をすることにより、他方を利得させることをいい、出捐が金銭でなされる場合のその金銭を出捐金という。
随意契約 国や地方公共団体などが競争入札によらずに任意(随意)で決定した相手と契約を締結すること。

大幅に減少する基金 財政は健全か？

質問

今年度末の※財政調整基金、いわゆる貯金は145億円だが、次年度には65億6千万円取り崩し、結果としてほぼ半減する。これで財政が健全と言えるのか。

答 弁／多賀財務部長

これは普通建設事業費が大幅に増加するためであり、中期財政運営方針における見込み通りに推移している。今後とも計画的な財政運営を継続できるものと考えている。

農業の危機！ どうする担い手？

質問

令和5、6年度に地域計画を策定したが、これによって「今後5年すら見通せない」という個人農家が大半という、厳しい実態が明らかとなった。「担い手問題という農業の危機」にどのように向き合うのか。具体策を問う。

答 弁／高垣市長

衆議院予算委員会の地方公聴会で、所得補償制度や適正な価格形成の仕組み、中山間地で活用できる安価なスマート農業機械の開発・導入などの農業施策が必要であると要望した。また、地域計画が描く、めざす姿の実現に取り組む。

先進自治体に負けるな 生成AIの活用促進を

質問

DX推進予算は、前年度比で倍増し、約30億円を計上している。今後さらに人材不足と人件費の増加が見込まれる中、市は生成AIをどのように活用し、行政事務の効率化や省人化を進めるのか。

答 弁／栗栖経営戦略担当理事

今後の生成AIは、あらゆる分野での活用が想定されるが、当面は定型作業の多い業務や大量のデータを扱う業務に有効だと考える。技術の進歩も踏まえ、行政業務の効率化、省人化を進めたい。

※財政調整基金

自治体において年度間の財源の不均衡を調整するための積立金。財源に余裕のある年度に積み立て、災害や大幅な税収減などがある年度に取り崩す。

代表質問



おかだ いくそう
岡田 育三
(創志会)

質問した項目

- 新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現について
- 地方への人の流れの創出・拡大(若者や女性に選ばれる地方の実現)について
- 施策推進体制の整備について

創志会の
代表質問
全編映像は
こちらから



地域共生社会の実現について

質問

地域の課題を自分ゴトとして受け止め課題解決を目指すとしていますが、住民自治協議会の役員や民生委員児童委員が高齢化し、担い手が不足するなど、地域でのプレーヤーがいない状況がある。次年度の新事業である「協同労働」により地域課題解決を図ろうと考えているが、どのように事業を進め、地域共生社会の実現を図るのか市の考えを伺う。

答 弁／高垣市長 福光健康福祉部長

地域共生社会の推進は、地域課題解決の手段のみならず、市民一人一人の自己実現による「シアエ

ル」関係づくりにつながり、それが※ウエルビーイングの向上につながることを認識している。そのために市民にまず地域の様々な課題を知り、興味を持ち、その興味関心から「自分も何か協力したい、活動してみたい」と思っていたり、活動を目指しており、例えば地域センターの主催講座といった地域の学びを起点とした取組みは、地域の担い手確保にも資するものと考えている。

次世代学園都市の実現について

質問

次世代学園都市構想において広島大学周辺ゾーンと半導体拠点施設を有する吉川地域を追加されるが、その地域に隣接する原・田口地域についても目的あるエリアに

※ウエルビーイング 5ページをご参照ください。

会派所属議員

岡田 育三	上田 秀久
向井 哲浩	中曾 久勝
玉川 雅彦	奥谷 求

※令和7年3月現在

位置づけ整備が必要があると考ええる。移動に関わる地域としての整備方針や将来像についての考えを伺う。また、拠点間の移動方法について、現在導入に向けて検討・実証実験を行っている自動運転・隊列走行※BRTを延伸させる計画があるのか。さらには将来的にどのルートを想定しているのか伺う。

答 弁／高垣市長

広島大学周辺地域では産学連携した研究基盤の整備を推進していくため、その基盤となる産業団地や幹線道路などの整備を進める一方で、隣接する原地区、田口地区においても、企業集積や人口増加の段階に応じて開発の必要性が高まると想定されることから、民間企業の投資意欲を勘案し、土地利用にかかる法規制との調整をしながら順次まちづくり結び付ける必要があると考える。

BRTの延長について、次世代学園都市ゾーンがその名のとおり機能を発揮すれば、研究活動・製

造・運搬など幅広く活動量が増え、更なる交通量の増大が見込まれる。現在進めているBRT導入基本構想の策定作業の中で、現在の実証走行区間に続く第2段階として、吉川地区や新幹線東広島駅周辺地区も含めた拠点間の路線も含めて研究を進めていく。



自動運転・隊列走行BRTの実証実験の様子

本市の特長を活かした観光施策について

質問

「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録され観光振興への追い風となることが期待される中で、新年度は「西条酒蔵通りのキーコンテンツ創出に向けた事業スキームを確立する」としているが、西条酒蔵通りにおいて、どの

様な事業を行うとしているのか。また、関係事業者との協議は進んでいるのか、その見込みについて伺う。

答 弁／高垣市長

西条酒蔵通りでの事業内容として、例えば歴史ある建築物を活用した高級感のある宿泊施設や、日本酒の飲み比べが楽しめる施設など、観光客を呼び込み消費額を増加させるコンテンツとしてどのようなものがふさわしいかを、関係事業者や地域と合意形成を図りながら、運営スキームの確立に取り組むとしていく。現在、この取り組みを担うディスカバー東広島を中心にアイデアを出し合っている段階であり、令和7年度中には具体的な取組内容を決めていく。



西条酒蔵通り

気候変動を踏まえた治水対策の推進について

質問

令和3年第3回定例会において、土与丸地区の浸水対策について、西条大坪地区・上市地区の浸水対策として整備されている西条1号雨水幹線やゲートポンプの整備効果及び今後の整備計画について質問したが、その後の土与丸地区の浸水対策と現在の進捗、今後の整備計画について伺う。

答 弁／檜山下水道部長

土与丸地区においては、令和4年度から、排水能力が不足している既設水路の把握や、豪雨の際の中川の水位上昇に関する解析結果の検証など、多角的に浸水被害の要因分析を行ってきた。その結果を踏まえ、大坪ゲートポンプ場など、既存施設の排水効果を最大限活用した効果的な雨水排水施設の整備計画を策定中で、今後は早期に工事着手できるように、地元説明や詳細設計を進めていく。

※BRT Bus Rapid Transit（バス高速輸送システム）の略。バス専用レーンやバス優先信号などを組み合わせて、これまで以上に早く、時間どおりに目的地へ到着できるバスシステム。鉄道と路線バスの中間に位置する輸送モード。



こいけ えみこ
小池 恵美子
(市民クラブ)

八本松駅の改修は？

質問

八本松駅前には現在区画整理が進められており人口増が見込まれる。しかし、八本松の駅舎は1968年に橋上駅舎として改築されたから築57年を迎え老朽化している。本市の西の玄関口である八本松駅の改修に取り組まれるものと期待しているが、市として何らかの計画や構想を持っているのか。また、それをどのようなスケジュールで進める予定なのか伺う。

答 弁／台信都市部長

南側駅前広場は、ロータリーの出入り口となる国道486号との交差点部分を改良することとしている。また、南北の駅前広場を連絡する互栄橋は老朽化が進んでおり、安

質問した項目

- 令和7年度当初予算について
- 持続可能な地域づくりについて
- 質の高い教育について



市民クラブの
代表質問
全編映像は
コチラから

全性を確保するため令和6～9年度にかけて補修工事を行うこととしている。しかし、これらの整備

は現状の機能を維持するためのものであり、駅舎及び南北駅前広場の抜本的な整備の構想や計画がないことから、令和7年度から地域住民の意見を伺いながら、長期的な視点で調査・検討を行っていきたいと考えている。

自転車通行帯と駐輪場の整備について

質問

自転車の利用を促進するには自転車通行帯の整備などが必要になる。現在、八本松駅前土地区画

整理で計画されている市道や県道、建設中の西条中央巡回線に自転車通行帯の計画があるのか。また、自転車活用には駐輪場も重要

だが、現在の無料駐輪場は屋根もないため、雨天時に雨具を脱ぎ着する場所もなく、自転車も雨ざらしになっている。自転車を利用しやすい環境整備を検討していく考えはあるのか伺う。

答 弁／藤原建設部長

ご指摘の道路については自転車通行空間は必要だと思いが、自転車専用レーンの整備に必要な幅の確保が困難であることから、路面標示により車道内で自転車走行位置を明示して注意喚起を促す「車道混在型」での整備を基本に検討する。駐輪場については、施設の更新の際には、適切な収容台数の確保・利用者のニーズに応じたサービスの提供ができるよう計画的な整備・改修を推進するとともに、市民が利用しやすい駐輪場の環境整備について検討していく。

コミュニティ・スクールの地域住民への周知

質問

コミュニティ・スクールは、学

校と地域が協働することで、子どもたちが多様な人たちと関わり、さまざまな体験をし、生きる力を育むとされている。それには地域住民の協力が不可欠にもかかわらず、コミュニティ・スクール制度の認知度は低いと思う。今後どのように周知を図っていくかとされているのか伺う。

答 弁／市場教育長

地域住民向けのリーフレット「東広島版コミュニティ・スクール」を作成し、学校運営協議会での活用を学校に依頼している。今後、地域センター等にもリーフレットを設置し、地域住民への周知を図っていく。

部活動地域展開での教育的意義の構築は？

質問

文部科学省が示している「地域クラブ活動」の学習指導要領における取扱いは、学校外の活動ではあるものの、教育的意義を有しているとし、そのため「地域クラブ

会派所属議員

石原 賢治	小池恵美子
落海 直哉	景山 浩
中川 修	

※令和7年3月現在

と学校との連携が大切」とされている。部活動が地域展開された場合、民間の事業であるクラブや地域ボランティアの指導者と学校が、本来に教育的意義を構築することができるのか伺う。

答 弁／市場教育長

民間の事業として行われるクラブの指導者については、所属団体での研修受講や必要な資格の取得などを通じて、教育的意義を踏まえた指導に取り組んでいると認識している。地域ボランティアとして運営されているクラブの団体については、公認地域クラブへの加入を促し、加入後には教育的意義を深めるための研修やサポートを提供していきたい。

地域担当職員配置における成果と課題

質問

本市は平成17年2月に1市5町が合併して20年を迎えた。事務事業もほとんどが本庁に集約されたことを受け、支所の職員数は大幅

に減り、支所独自の予算もほとんど無くなった。地域と一体になつたまちづくりを進めるためには、支所・出張所機能が充実していなければならぬ。支所には地域担当職員を配置されたが、これらの職員の成果と課題について伺う。

答 弁／前延副市長

支所の地域担当職員は配置1年目の現状において、直ちに総合的な評価には至っていない。職務としては、住民自治協議会の支援や移住・定住事業、農地に関する地域計画の策定協議への同席、空き家対策への支援など多岐にわたる活動を展開しており、地域別計画の推進においても一定の成果につながるものと期待している。課題としては、全庁的な施策の方向性と現場で表れるギャップの解消に時間を要することなどが生じてきた。それぞれの地域特性を踏まえながら、出先機関が全体として適切な体制になるよう努めていきたい。

「一括質問方式」と「一問一答方式」

市議会の一般質問や代表質問には、「一括質問方式」と「一問一答方式」という2つの方法があります。

一括質問方式では、質問者（議員）が最初にまとめて質問を行い、その後、答弁者（市長や担当部長など）が一括して回答します。この方式のメリットは、質問と答弁の時間が明確に分かれているため、議会の進行がスムーズであることや、最初に質問全体を述べるため質問漏れがなく、全体の意図が分かりやすいことなどです。

一方、**一問一答方式**は、質問と答弁を一つずつ交互に行うため、質問と答弁の関係が明確になり、市民の皆様にとって議論の内容が分かりやすいというメリットがあります。

現在、東広島市議会では、**初回の質問は一括質問方式、再質問は一問一答方式**を採用しており、あらかじめ議員の発言の制限時間を設けて運営していますが、より市民に開かれた議会を目指し、さらなる改善策について議会運営委員会で検討が進められています。今後も、市民の皆様にとって分かりやすく、充実した議論が行われるよう、議会改革を進めていきます。



きむら てるえ
木村 輝江
(未来の風)

家庭教育支援について

質問

国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習機会や情報の提供など、家庭教育を支援するための必要な施策を講じるよう教育基本法において規定されている。本市では子育て中の保護者向けに、ブックレビュー講座や『親の力』をまなびあう学習プログラムを行っているが、市の家庭教育支援はどのようを目指しているのか。

また、家庭教育への関心が低い家庭の理解を深めるためにどのように取り組んでいくのか。

答 弁／川口副市長

家庭教育は本市が掲げる地域共生社会の実現を図る上で重要な基

質問した項目

■ 新年度予算案について



未来の風の代表質問全編映像はコチラから

盤の一つである。家庭教育支援のより一層の充実を目指し、子どもへの理解や保護者同士の交流を深めるとともに地域での支援者を増やすことで、保護者に子育てに対する自信や安心感の醸成を図っていく。

また、妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援体制であるネウボラ事業において、家庭教育への関心が低い家庭が理解を深められるよう取り組んでいる。

幼保小連携について

質問

令和6年度、黒瀬地区をモデル地区として幼保小の連携を進めている。非常に良い取組みであるがこの取組みをどのようにして展開していくのか。

また、西条地区のような多くの

保育所等から進学する小学校における幼保小連携はどのようにして行うのか伺う。

答 弁／川口副市長

モデル地域での取組みを横展開するため、令和6年度は市立の小学校や幼稚園、保育所等に加え、私立保育所等を対象に幼保小連携担当者研修を実施し、モデル地区の取組みを共有した。令和7年度は管理職を含む教職員の半数以上を対象に、幼保小連携特設講座を新たに実施し、各校の組織的な取組みを支援する。研修内容をさらに充実させることで、保育所等と小学校の実態に基づいた実効性のあるカリキュラムへの改善を目指す。

また、多くの保育所等から進学する小学校での連携については、入学前に合同連携会や情報共有を行い、支援が必要な児童については特に丁寧に情報共有を行っている。入学後も連携を継続し、個々の児童に応じた指導に生かしていく。

不登校等支援について

質問

不登校等児童生徒への支援として居場所の整備も必要だが、子ども居場所を検討する際、学校教育部のみならず健康福祉部や地域振興部、こども未来部などが一緒になって課題を共有し、本当に子どもが必要とする居場所づくりを目指して協議を行っているのか。部局連携のあるべき姿と具体的な進め方を伺う。

答 弁／高垣市長

市長、副市長、教育長、教育委員会も含めた各部長が協議する経営戦略会議や、市長が教育委員会と教育行政について協議する総合教育会議等において、日頃から緊密な連携を行っている。その他にも必要に応じて連携しており、先日も副市長や教育長、関係部長等で構成する「特別な配慮が必要な児童への総合支援策庁内検討会議」の立ち上げに向け協議を開始したところである。

会派所属議員

鈴木 英士 木村 輝江	鍋島 勢理
----------------	-------

※令和7年3月現在



いわさき 和仁
岩崎 和仁
(創生会)

質問した項目

■第五次東広島市総合計画について



創生会の
代表質問
全編映像は
こちらから

発達に課題がある児童の支援について

質問

発達に課題がある児童は増加傾向にあり、こども園などの保育施設、教育現場や放課後等デイサービスなどによる人的支援を増やし続けているが、限界にきているように思う。

発達に課題がある児童に対しては、小学校へ上がるまでの間、早期に療育を行うなどの対応が必要であると考えます。対応はすぐに必要なものではなく一定の期間が必要なため、早急に療育支援者の養成が必要だと思いが、市としての見解を伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

令和6年度から、現場での対応

力向上を図る取組みとして、療育機関などに従事する支援者向けの研修を開始している。これにより、より質の高い療育を行う環境を整備するとともに、支援者の職場定着を促し、離職の抑制にもつなげていきたいと考えている。発達障がいへの支援を支える人材と質の確保は最重要課題と捉えており、ライフステージに応じた切れ目のない支援が可能な環境の整備に向けて、関係部局間で緊密に連携しながら取り組む。

次世代学園都市構想について

質問

企業誘致が見込まれる次世代学園都市構想について、市民理解を得るためにも、具現化、とりわけシンボルとなりうるものが必要と

考えるが市としての見解を伺う。

答 弁／高垣市長

次世代学園都市構想については、民間企業からも大きく注目されている。

現在、企業版ふるさと納税の制度を呼び水として、民間企業からの投資が集まる仕組みを構築している。今後も大きなチャンスを実現に促すため、産学官民の連携を促し、本市に様々な投資が行われる仕組みを作っていくことで、さらなる企業の誘致やイノベーション的な人材が集積する持続可能なまちづくりが進み、次世代学園都市の実現の可能性が高まると考えている。

また半導体分野以外にも、デジタルものづくりやバイオ、*ゲノムなど様々な**コンソーシアムが形成されており、広島大学内の半導体産業技術研究所J-イノベーションハブ棟やサイエンスパーク内のデジタルものづくりイノベーション拠点など目に見える形で具現化が進んでいる。学術研究機関

による人材育成、民間企業による社会実装など、産学官民の共創による動きが加速するよう努めていく。

観光におけるポートセールスについて

質問

クルーズ船は、福山市の鞆の浦、尾道市の糸崎港、瀬戸田港、呉市の御手洗港などに寄港されている。寄港に向けたセールス活動は産業部ブランド推進課が担うべきと考え、市の見解を伺う。

答 弁／尾村産業部長

国をはじめ、瀬戸内海に面する県や市町から構成される「瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会」には、クルーズ船会社などを対象とした商談会など、観光分野のセールス活動をしている「瀬戸内クルーズ推進会議」がある。この会議にブランド推進課が参画し、地域の事業者や関係団体等と連携を図りながら、クルーズ船の誘致を検討するなど、地域の観光振興を進めていく。

会派所属議員

岩崎 和仁	片山 貴志
牧尾 良二	

※令和7年3月現在

*ゲノム 生物のもつ遺伝子（遺伝情報）の全体を指す言葉。
**コンソーシアム 共通の目的に沿った活動を行う共同体・共同事業体。



みやかわ やすこ
宮川 誠子
(真政倶楽部)

質問した項目

■ 新年度予算の重点施策について



真政倶楽部の
代表質問
全編映像は
コチラから

党派所属議員

宮川 誠子 | 山田 学

※令和7年3月現在

幕末日本は本物の共生
社会を実現していた！

質問

幕末日本は、現代の我々のイメージとはかけ離れている。当時の人々は旅先で病人を見かけると放っておかない情愛を基本としていた。町内が完結した小宇宙で、祭りの相談、婚礼の世話などあらゆることが髪結い床で話し合われた。人と人の垣根が低く、見知らぬ人でも他人とは思っていない。社会全体が緩やかに繋がり、血のつながりは関係なくひとつの大きな家族のような感覚であったと感じる。

「生業を見つけてその日一日を淡々と生きる。感情の赴くままに率直に人々と交わる。」そんな暮らしは「幸せ・豊かさ」の意味を突き付ける。現代の我々は、お金、

地位、名誉が幸せの道と信じて馬車馬のように生きている。息苦しいことこの上ない。

豊かさは、お金や地位などとは無縁のものだと幕末日本が教えてくれている。思い出さなければ地域共生社会とは程遠い。考えを問う。

答 弁 / 高垣市長

江戸時代において、我が国固有の神道や大陸から伝来した仏教や儒教が融合した日本独自の文化が形成され、慈悲や自利利他の考え方に基づく共生という倫理観が国民に育まれていったと考えている。

しかし、公共サービスの発達により近所に助けを求めなくてよくなり、他者への無関心や不寛容を生んだ側面もあると考える。令和時代の地域共生社会を目指していく。

※自利利他

仏教用語で、自らの悟りのために修行し努力することと、他の人の救済のために尽くすことを指し、この二つを共に完全に行うことが理想とされる。自分が幸せになると同時に、他人を幸せにすること。



たに はるみ
谷 晴美
(日本共産党)

質問した項目

■ 子育て世帯・高齢者への支援について
■ 命の水を守ることに
■ 公設の産業団地の造成より、今不足している人材の雇用に財源を回すことの重要性について



谷議員の
一般質問
全編映像は
コチラから

子育て世帯・高齢者への
支援を早急に講じて

質問

① 全国の自治体で学校給食費の無償化が広がっているが、給食費無償化に対する本市の考えを伺う。

② 補聴器補助制度を実施している福山市と同様に、本市においても補助制度を創設すべきだと考える。本市の考えを伺う。

答 弁 / 片岡学校教育部長
福光健康福祉部長

① 小中学校全体で給食費の無償化を実施する場合、必要な財源は約9億3千万円にのぼる。施策の優先度や経費等を総合的に勘案しながら、慎重に対応を検討する。

② まずは、高齢者の方に補聴器に関する情報提供を行い、加齢性

産業団地造成より
人材雇用に財源を回して

質問

質問

効果をえられるまで5年、10年かかる産業団地の造成計画は凍結し、その予算を介護・医療人材、教職員・保育士等の確保に充てべきと考える。本市の考えを伺う。

答 弁 / 川口副市長
福光健康福祉部長

様々な企業による投資の受け皿となる産業用地の確保は喫緊の課題であり、市営産業団地の整備に向けた取組み等を行っているところである。一方で、各分野の人材不足も課題となっており、経費の支援等を行い人材確保に努める。